

《論 文》

大阪都市圏における地域特性の変遷と 人口動態との関係について¹

—人口減少社会を見据えて—

三 浦 晴 彦

はじめに

1. 各年代における地域特性の特定
2. 地域特性の通期的な変遷
3. 都市の特性と人口動態

おわりに

はじめに

今後の日本の社会・経済構造を概観すると、最大の課題は人口減少社会への対応である。大阪を中心とした大阪都市圏の浮沈の鍵を握るのも将来の人口減少を見据えた行政面を含めた総合的な“真に魅力ある”都市づくりである。

大阪府下の今後の人口動向については、2035年の推計人口において中心部の一部の区の人口増が予想されるものの大半の区・市において人口減となり、減少幅も都市間で大きく差が生じると予想されている²。人口減少の経済・社会面でのインパクトは計り知れず、その対応については一刻の猶予もない状況である。

1 本稿は、関西社会経済研究所における『人口減少時代における大阪再生の研究—大阪都市圏の空間構造分析—』第3章を加筆・修正したものである。

2 国立社会保障・人口問題研究所による推計（平成20年12月推計：開放人口下）において、2035年に人口増が予想されるのは、西区、天王寺区、北区、中央区、鶴見区の5つであり、他の19区・33市は人口減が予想されている。

人口減少の要因を探るためにも、都市に人口が集まる要因、すなわち都市に求められる住環境を検証する必要がある。住環境としての都市の魅力（求められる要素）は、経済・社会の発展による住民ニーズの変化に応じて変遷をとげてきた。今後の人口減少社会における魅力ある都市像を見定めるためにも大阪都市圏の都市の諸側面について、過去からの趨勢として、1970年から現在に至る各年代における都市を特徴づける主要素がどのように変化してきたのかを考察していく。そして、それらの主要素が人口動態とどのような関係にあるのかを検証していく³。

1. 各年代における地域特性の特定

各年代における大阪都市圏の地域特性の特定を行う。分析時期として、1970年、1980年、1990年、2000年、2008年の5ヶ年を取り上げる。分析地域は大阪を中心とした通勤圏内を想定して、大阪府下全域（24区・32市）と兵庫県の一部（1区・7市）とする⁴。

地域の特徴を表す様々な変数から各年代の地域特性を主成分分析⁵によって明らかにしていく。

3 林宜嗣「大都市圏における人口移動と都市政策」『経済学論究』62巻1号を参考に分析を進める。

4 分析対象とした兵庫県下の区・市は、東灘区、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市であり、文中の区・市数は2000年時点の数である。過去における区と区の合併、区からの分離による区の新設（及び既存区の縮小）、新規の市への昇格等は、分析時点に存在する区・市をそのまま対象とする。ただし2008年データにおいて堺市の区は扱わない。

5 主成分分析とは、分析対象（今回は大阪通勤圏の区・市）の持つ様々なデータ側面（変数）について、分析対象の差異を表現できる少数の変数の合成値（指標）にまとめる分析手法であり、その指標によって分析対象の差異（特徴）を見通すことを容易にする。

(1) 地域特性を表す変数の精査

地域特性を表す変数として以下の表1の15変数を1970年－2008年の期間を通じて取り上げる⁶。人口動態についての関心から住環境に関する変数を多くセレクトしているが、これらの変数は住環境に留まらず多面的にそれぞれ地域の特性と関係している重要な指標である。

各変数はその性質上、例えば地域の基礎的な変数、住環境変数、経済活動変数といった形で大きく分類できるが、地域の歴史的経緯を含む変数が存在する場合や、経済活動と住環境は密接につながっている場合などがあるため、全体としてどのように地域の特性と関係しているのかは判然としない。また、同一変数であっても、各年代において地域特性との関係が変容することも考えられる。

主成分分析を行うことによって数多くの変数からエッセンスとなる少数の変量を求めることができ、都市間の差異を明らかにする総合的な指標を求めることが可能となる。

表1 採用した変数一覧

	変 数	出 典
1	人口密度	国勢調査
2	65歳以上人口比率	国勢調査
3	持ち家比率	住宅・土地統計調査
4	終戦以前に建築された住宅の比率	住宅・土地統計調査
5	長屋建て住宅の比率	住宅・土地統計調査
6	共同住宅比率	住宅・土地統計調査
7	水洗化率	住宅・土地統計調査
8	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	住宅・土地統計調査
9	空き家率	住宅・土地統計調査
10	人口1000人あたり事業所数	事務所統計
11	人口1000人あたり小売店舗数	商業統計
12	第2次産業就業者比率	国勢調査
13	零細事業所（従業員4人以下）従業員の全従業者数に占める比率	事務所統計
14	失業率	国勢調査
15	生活保護受給者世帯比率	府県・市の統計書

6 データ作成上の留意点については、文末の補論を参照のこと。

(2) 主成分分析の結果

主成分分析結果の固有値と累積寄与率については以下の表2の通りである。累積寄与率が80%となる主成分として各時期の分析で第4主成分までを取り上げる。主成分分析結果の詳細（固有ベクトル表、主成分得点表）については文末の別表1、別表2に示す。

表2 分析結果（固有値表と累積寄与率）

		1970年 分析結果	1980年 分析結果	1990年 分析結果	2000年 分析結果	2008年 分析結果
第1主成分	固有値	5.49	5.07	5.80	5.81	5.74
	累積寄与率	36.6%	33.8%	38.6%	38.8%	38.3%
第2主成分	固有値	3.83	3.55	3.30	3.31	3.76
	累積寄与率	62.2%	57.5%	60.6%	60.8%	63.4%
第3主成分	固有値	2.31	2.10	1.85	1.72	1.63
	累積寄与率	77.6%	71.5%	73.0%	72.3%	74.3%
第4主成分	固有値	0.84	1.27	1.43	1.24	0.97
	累積寄与率	83.2%	80.0%	82.5%	80.6%	80.7%

① 主成分分析結果の読み取り

1970年の分析結果として、第1主成分は寄与率36.6%、第2主成分は寄与率25.6%（累積寄与率62.2%）、第3主成分は寄与率15.4%（累積寄与率77.6%）、第4主成分は寄与率5.6%（累積寄与率83.2%）となっている。別表1の固有ベクトル表（1970年）から各主成分が表す指標を検討すると、第1主成分は「経済活動度」を、第2主成分は「中心地度」を、第3主成分は「インナーシティー度」を、第4主成分は「近接工業地域型住環境要素」を表す指標と解釈できる⁷。

7 本研究における対象である大阪都市圏においては大半の地域が都市化されており、「中心地度」は其中で人々の活動の核となる地域をイメージしており、地理的な圏内の中心を意味している訳ではない。「インナーシティー度」についても、地理的に一極の中心地における空洞化といったことを意味している訳ではない。それ以外の読み取りについても地理的な表現を用いているが、直接的な地理的条件を意味している訳ではない。

1980年の分析結果として、第1主成分は寄与率33.8%、第2主成分は寄与率23.7%（累積寄与率57.5%）、第3主成分は寄与率14.0%（累積寄与率71.5%）、第4主成分は寄与率8.5%（累積寄与率80.0%）となっている。別表1の固有ベクトル表（1980年）から各主成分が表す指標を検討すると、第1主成分は「中心地度」を、第2主成分は「インナーシティー度」を、第3主成分は「負の経済活動度（経済活動度の逆指標）」を、第4主成分は「旧来型近郊住宅地環境要素」を表す指標と解釈できる。

1990年の分析結果として、第1主成分は寄与率38.6%、第2主成分は寄与率22.0%（累積寄与率60.6%）、第3主成分は寄与率12.3%（累積寄与率73.0%）、第4主成分は寄与率9.5%（累積寄与率82.5%）となっている。別表1の固有ベクトル表（1990年）から各主成分が表す指標を検討すると、第1主成分は「中心地度」を、第2主成分は「インナーシティー度」を、第3主成分は「経済活動度」を、第4主成分は「近接工業地域型住環境要素」を表す指標と解釈できる。

2000年の分析結果として、第1主成分は寄与率38.8%、第2主成分は寄与率22.1%（累積寄与率60.8%）、第3主成分は寄与率11.5%（累積寄与率72.3%）、第4主成分は寄与率8.3%（累積寄与率80.6%）となっている。別表1の固有ベクトル表（2000年）から各主成分が表す指標を検討すると、第1主成分は「郊外型住環境要素（中心地度の逆指標）」を、第2主成分は「インナーシティー度」を、第3主成分は「経済活動度」を、第4主成分は「旧来型近郊住宅地環境要素」を表す指標と解釈できる。

2008年の分析結果として、第1主成分は寄与率38.3%、第2主成分は寄与率25.1%（累積寄与率63.4%）、第3主成分は寄与率10.9%（累積寄与率74.3%）、第4主成分は寄与率6.5%（累積寄与率80.7%）となっている。別表1の固有ベクトル表（2008年）から各主成分が表す指標を検討すると、第1主成分は「インナーシティー度」を、第2主成分は「中心地度」を、第3主成分は「旧来型近郊住宅地環境」を、第4主成分は「近接工

業地域型住環境要素」を表す指標と解釈できる。

② 各指標の読み取りの根拠となる特徴的な変数

主成分分析においては、分析結果の読み取りが重要であるため、以下に主な指標の読み取りの根拠となった変数の動きを示す。

①中心地度

特徴的な変数として、「人口密度」、「共同住宅比率」、「通勤30分以内世帯比率」がプラスに大きく影響している。逆に、「持ち家率」、「第2次産業比率」、「零細事業者従事比率」がマイナスに大きく影響している。また、「事業所数」、「小売業商店数」も影響は小さいがプラスである。

これらを総合すると、都市圏の中心地であるというイメージが浮かび上がる。

②インナーシティー度

特徴的な変数として、「零細事業者比率」、「第2次産業比率」、「長屋建て比率」がプラスに大きく影響している。一方、「事業所数」、「小売業商店数」、「共同住宅比率」がマイナスに大きく影響している。また、「人口密度」、「失業率」もプラスに影響している。

これらを総合すると、歴史の長い地域であるとともに、中心地にも近い地域であるが、分析年においては経済的活力が停滞している地域であるというイメージが浮かび上がる。

③経済活動度

特徴的な変数として、「事業所数」、「小売業商店数」がプラスに大きく影響している。一方、「空き家度」、「失業率」がマイナスに大きく影響している。また、「65歳以上人口比率」、「持ち家率」、「通勤30分以内

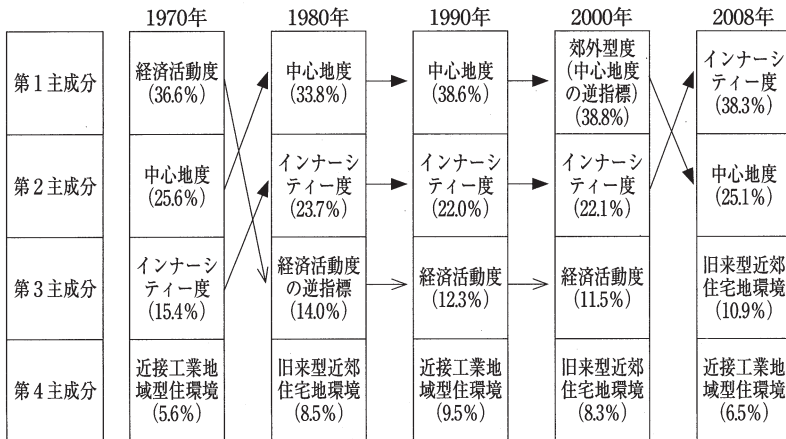
世帯比率」もプラスに大きく影響している、「人口密度」はマイナスに影響し「共同住宅比率」もマイナスの影響を与えている。

これらを総合すると、経済的に活発な地域であるイメージが浮かび上がる。ただし、住環境の立地イメージとしては、新興住宅地というよりも中心部の周辺で歴史的にも古くから拓けていており、地場産業がある等の独自の経済活動が存在するといったイメージも浮かび上がる。

2. 地域特性の通期的な変遷

各年代の主成分結果を経年的に並べたものが図1であり、各年代において同様の地域特性要素が現れている。それら同一地域特性要素の主成分順位（及びその寄与度）の変動を各地域特性要素の経年的推移と捉えらると大阪都市圏における地域特性の変遷を読み取ることができる。

図1 通期的な地域特性要素の変遷



括弧内は寄与度を表している

1970年においては、高度成長の影響から「経済活動度」についての都

市間の差異が都市の特徴を表すのに有効であったことがわかる。高度経済成長が終わった1980年以降は、「中心地度」、「インナーシティー度」といった都心部の要素が上位となり、都心か郊外かという空間的要素の都市間の差異が都市の特徴を表すのに有効となっている。

1980年の第1主成分「中心地度」、第2主成分「インナーシティー度」の流れは、バブル経済における中心部の再開発等の影響が読み取れ、1990年においても同様の傾向が見られるが、2000年においては、バブル崩壊（地価の下落傾向）を反映して、「中心地度」の逆指標ともいえる「郊外型度」が第1主成分となっている。

そして、2008年において、「インナーシティー度」が第1主成分に順位を上げ、寄与率も上昇していることは興味深い結果である。このことは、長期の経済低迷とともに、人口減少が広範囲に及びつつあり、その度合いの都市間での差異が顕在化してきていることの影響と推察される。

今後の人口減少社会を考える上で、人口増減にどの主成分が効いているのかを検証することで、さらに詳細な分析が可能となる。

3. 都市の特性と人口動態の関係の検証

各年代の特徴的要素と人口動態の関係を検証していく。

(1) 各年代の人口変動率の算出

人口変動率は主成分分析を行った分析対象時点間での各市・区の人口の変化と対応させて検討するために10年間（2008年分析については8年間）の平均変化率をとる⁸。

それぞれの期間の変化率について、その上位と下位の都市を中心にまとめたものが以下の表3である。

分析対象である市・区の全体の平均人口変化率は、時期が下るにつれ

て小さくなり、2008年人口変化率（2000年－2008年）はマイナスとなっている。

人口増加率の高い上位5都市と人口減少率の高い下位5都市の経年的変遷を概観すると、1970年人口変化率（1960年－1970年）以降、中心部の人口減少・郊外の人口増加が顕著であり、郊外化の傾向が続くが、2000年人口変化率（1990年－2000年）で中心部の人口減少に歯止めがかかり、2008年人口変化率（2000年－2008年）では中心部が人口増加に転じている⁹。

8 人口変化率を求める際に、採用期間中の区・市の変更については、以下のようなデータ処理を行った。

・区の新設

1974年に鶴見区、淀川区、住之江区、平野区が、それぞれ、城東区、東淀川区、住吉区、東住吉区から分離して誕生した。1980年人口変動率（1970－1980）を求める際の1970年人口については、遡って計算された「組み替え値」を該当する8区に適用した。

・市への合併・編入

1961年の堺市への福泉町の編入と寝屋川市への水本町の編入、2005年の堺市の美原町の編入、については各分析期間の期初に遡って「組み替え値」を求め、人口変動率を算出した。1967年の布施市、枚岡市、河内市の合併による東大阪市の誕生についても、分析期間の期初（1960年）に遡って「組み替え値」を求め、人口変動率を算出した。

9 分析地域全体の傾向として、1980年人口変化率（1970年－1980年）の郊外の人口増が1990年人口変化率（1980年－1990年）ではまだら模様となり増加率も沈静化しており、2000年人口変化率（1990年－2000年）では人口減少が中心部から周辺部へ及んでいく。2008年人口変化率（2000年－2008年）では中心部の人口増、周辺部の人口減、郊外の人口増という3層分化がみられる。

表3 各年代の人口変化

1960年-1970年の人口変化

分析対象全体		2.91
上位	1 寝屋川	15.22
	2 高槻	11.33
	3 枚方	10.47
	4 茨木	8.60
	5 吹田	8.32
下位	1 北	-4.50
	2 東	-4.28
	3 南	-3.84
	4 福島	-2.67
	5 西	-2.51

分析対象団体数	37
プラス団体数	21
マイナス団体数	16

1970年-1980年の人口変化

分析対象全体		0.96
上位	1 交野	6.19
	2 箕面	6.13
	3 枚方	4.98
	4 河内長野	4.22
	5 川西	4.07
下位	1 東	-3.46
	2 南	-2.91
	3 浪速	-2.68
	4 西成	-2.53
	5 阿倍野	-2.23

分析対象団体数	63
プラス団体数	37
マイナス団体数	26

1980年-1990年の人口変化

分析対象全体		0.28
上位	1 三田	5.86
	2 河内長野	3.31
	3 住之江	2.03
	4 和泉	1.63
	5 箕面	1.61
下位	1 中央	-1.19
	2 生野	-1.12
	3 阿倍野	-1.06
	4 東成	-0.91
	5 東住吉	-0.80

分析対象団体数	63
プラス団体数	38
マイナス団体数	25

1990年-2000年の人口変化

分析対象全体		0.11
上位	1 三田	5.64
	2 和泉	1.70
	3 交野	1.65
	4 富田林	1.37
	5 泉大津	1.14
下位	1 生野	-0.84
	2 大正	-0.79
	3 此花	-0.69
	4 尼崎	-0.68
	5 旭	-0.68

分析対象団体数	64
プラス団体数	36
マイナス団体数	28

2000年-2008年の人口変化

分析対象全体		-0.08
上位	1 中央	2.68
	2 西	1.86
	3 芦屋	1.25
	4 福島	1.22
	5 西宮	0.77
下位	1 生野	-3.86
	2 西成	-2.59
	3 東淀川	-1.11
	4 東成	-0.92
	5 旭	-0.86

分析対象団体数	64
プラス団体数	32
マイナス団体数	32

(2) 人口変動率と各主成分との回帰分析

1970年以降の各年代の大阪都市圏の都市の人口変動（平均変化率）を被説明変数、対応する時期の各都市の第1主成分から第4主成分の主成分得点を説明変数として回帰分析を行い、各年代の主成分が人口変動とどのような関係にあるのか検証していく。なお、1990年人口変化率と

2000年人口変化率において急激な伸びを示している兵庫県三田市をダミー処理した。

表4 回帰分析結果

	データ 数	決定係数 補正R ²	切 片	X1 第1主成分	X2 第2主成分	X3 第3主成分	X4 第4主成分	Dummy
1970年分析	37	0.779	2.11 (5.77)	-0.89 (-5.71)	-1.83 (-9.80)	0.38 (1.58)	-0.14 (-0.34)	
1980年分析	63	0.808	0.73 (5.81)	-0.89 (-15.93)	-0.16 (-2.46)	0.19 (2.22)	0.06 (0.49)	
1990年分析	63	0.683	0.30 (3.92)	-0.21 (-6.64)	-0.11 (-2.58)	-0.13 (-2.17)	0.00 (0.00)	5.29 (8.23)
2000年分析	64	0.693	0.16 (2.62)	0.12 (4.69)	-0.03 (-0.84)	0.10 (2.12)	-0.04 (-0.72)	5.02 (9.76)
2008年分析	64	0.644	-0.06 (-0.88)	-0.17 (-6.28)	0.30 (8.79)	-0.04 (-0.86)	-0.04 (-0.55)	

下段の括弧内はt値を表している

表5 主成分の読み取り結果（再掲）

	第1主成分	第2主成分	第3主成分	第4主成分
1970年分析	経済活動度	中心地度	インナーシティー度	近接工業地域型住環境
1980年分析	中心地度	インナーシティー度	負の経済活動度	旧来型近郊住宅地環境
1990年分析	中心地度	インナーシティー度	経済活動度	近接工業地域型住環境
2000年分析	郊外化度 (中心地度の逆指標)	インナーシティー度	経済活動度	旧来型近郊住宅地環境
2008年分析	インナーシティー度	中心地度	旧来型近郊住宅地環境	近接工業地域型住環境

1970年分析において、第1主成分（経済活動度）は人口変動に有意にマイナスに効いている。経済活動が活発な地域は住環境としては敬遠されたと考えられる。また、第2主成分（中心地度）が有意にマイナスであることも同様である。第3、第4主成分は統計的に有意ではない。

1980年分析において、第1主成分（中心地度）は、人口変動に有意にマイナスに効いている。第2主成分（インナーシティー度）も有意にマイナスである。また、第3主成分（負の経済活動度）はプラスに有意である。第4主成分は統計的に有意ではない。

1990年分析において、第1主成分（中心地度）は有意にマイナスであり、第2主成分（インナーシティー度）、第3主成分（経済活動度）も同様に有意にマイナスである。第4主成分は統計的に有意ではない。

2000年分析において、第1主成分（郊外化度）はプラスに有意である。また、第3主成分（経済活動度）もプラスに有意である。経済活動の活発さが住環境として選好されたと考えれば、70年代以降の傾向が転換したとも考えられる。第2、第4主成分は統計的に有意ではない。

2008年分析において、第1主成分（インナーシティー度）は有意にマイナスであり、第2主成分（中心地度）は有意にプラスである。第3、第4主成分は統計的に有意ではない。

以上の結果を踏まえて、通期的に中心地度とインナーシティー度に着目すると、中心地度は、1970年分析から2000年分析において、人口変動に有意にマイナスであり、郊外化の流れが続いていたが、2008年分析においては有意にプラスとなり、都心回帰の流れを裏付ける結果といえる。また、インナーシティー度は有意ではない時期（1970年、2000年）を除いて、有意にマイナスに働いている。

今後の人口減少への対応を考える際、2008年分析の傾向から中心地度を上げてインナーシティー度を下げることが人口増の方策となるが、中心地度は空間的制約があることとインナーシティー度が主成分順位と寄与率を上げていることから、インナーシティー度を構成する要素が重要な鍵になると考えられる。

(3) インナーシティー度についての再検討

インナーシティー度は通期的に主成分として現れており、近年、主成分順位（寄与度）を上げている。人口変動との関係においてマイナスに効く傾向が強いことから、各都市のインナーシティー度の主成分得点の通期的変動に着目して、今後人口減少が危惧される地域を検討する。

インナーシティー度の主成分得点の通期的な推移と近年の変動傾向¹⁰から、各都市について以下のようなグループ分けが可能である。

表6 インナーシティー度の主成分得点順位によるグループ分け

過去を通じて（約20年）順位が安定しているグループ			分析期間で順位が変動しているグループ		
①上位（15位程度まで）で安定しているグループ 10区・市			①近年、順位が大きく（15位程度以上）上昇したグループ 15区・市		
旭 東大阪			北 中央 東淀川		
阿倍野 東住吉			此花 豊中 福島		
生 野 東 成			住之江 天王寺 港		
城 東 平 野			住吉 浪速 都島		
西 成 守 口			大正 西 淀川		
②中位（15位～50位程度）で安定しているグループ 14区・市			②近年、順位が大きく（15位程度以上）下落したグループ 17区・市		
尼 崎 堺 富田林			和 泉 河内長野 大 東		
泉佐野 吹 田 西淀川			泉大津 川 西 高 槻		
伊 丹 摂 津 枚 方			貝 塚 岸和田 羽曳野		
大阪狭山 高 石 寝屋川			柏 原 四条畷 阪 南		
門 真 鶴 見			交 野 泉 南 藤井寺		
③下位（50位程度以下）で安定しているグループ 8区・市			松 原		
芦屋 西宮			八 尾		
池田 東灘区					
茨木 箕面					
三田					
宝塚					

インナーシティー度の順位が安定しているグループでは、上位グループは人口減少の圧力がかかっていることとなる。それとともに、インナーシティー度の順位が変動しているグループの近年順位が大きく上昇したグループについても、現段階においてインナーシティー要素が顕在化していないとしても人口変動にはマイナスであり、この傾向が続くとするならば将来の人口減少に繋がることが推測される。

おわりに

大阪都市圏における地域特性について、主成分分析より1970年以降の各年代で検証した結果、同種の要素が各年代で通期的に現れることが明らかとなった。地域特性の通期的変遷において、特に2000年以降に「インナーシティー度」が地域特性として上位に浮上していることが特徴としてあげられる。

各年代の地域特性と人口動態との関係を検証したところ、「インナーシティー度」は人口変動に対して、有意にマイナスとなるケースが多く見られた。近年において「インナーシティー度」が上昇している都市においては、今後、さらなる人口減少圧力がかかることが予想される。

今後の人口減少を食い止めるためには、「インナーシティー度」に寄与する要因を改善していくことが必要といえる。

別表1 主成分分析結果・固有ベクトル表

①1970年 固有ベクトル表

第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分	
事業所数（人口1000人あたり）	0.372	人口密度	0.458	終戦以前に建築された住宅の比率	0.502	生活保護受給者世帯比率	0.592
小売業店舗数（人口1000人あたり）	0.339	65歳以上人口比率	0.330	長屋建て住宅の比率	0.332	第2次産業就業者比率	0.411
持ち家比率	0.280	失業率	0.304	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.283	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.339
主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.267	生活保護受給者世帯比率	0.298	持ち家比率	0.248	持ち家比率	0.278
水洗化率	0.267	終戦以前に建築された住宅の比率	0.278	第2次産業就業者比率	0.226	失業率	0.228
65歳以上人口比率	0.234	水洗化率	0.277	65歳以上人口比率	0.218	小売業店舗数（人口1000人あたり）	0.084
終戦以前に建築された住宅の比率	-0.010	長屋建て住宅の比率	0.270	人口密度	0.127	終戦以前に建築された住宅の比率	0.076
人口密度	-0.049	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.262	小売業店舗数（人口1000人あたり）	-0.060	事業所数（人口1000人あたり）	0.054
生活保護受給者世帯比率	-0.152	小売業店舗数（人口1000人あたり）	0.253	事業所数（人口1000人あたり）	-0.084	65歳以上人口比率	-0.087
共同住宅比率	-0.218	共同住宅比率	0.241	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.092	空き家率	-0.087
長屋建て住宅の比率	-0.224	事業所数（人口1000人あたり）	0.153	生活保護受給者世帯比率	-0.178	共同住宅比率	-0.136
失業率	-0.259	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.127	失業率	-0.196	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.159
零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.294	空き家率	0.056	水洗化率	-0.224	長屋建て住宅の比率	-0.167
第2次産業就業者比率	-0.308	第2次産業就業者比率	-0.030	空き家率	-0.283	人口密度	-0.240
空き家率	-0.314	持ち家比率	-0.198	共同住宅比率	-0.402	水洗化率	-0.276

②1980年 固有ベクトル表

第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分	
65歳以上人口比率	0.362	零細事業所従業者の全従業員数に占める比率	0.413	共同住宅比率	0.450	水洗化率	0.390
水洗化率	0.354	第2次産業就業者比率	0.375	失業率	0.206	人口密度	0.288
主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.342	長屋建て住宅の比率	0.353	空き家率	0.193	終戦以前に建築された住宅の比率	0.200
小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.334	失業率	0.346	水洗化率	0.178	零細事業所従業者の全従業員数に占める比率	0.189
人口密度	0.312	生活保護受給者世帯比率	0.333	生活保護受給者世帯比率	0.105	共同住宅比率	0.142
事業所数(人口1000人あたり)	0.293	人口密度	0.268	人口密度	-0.043	長屋建て住宅の比率	0.136
共同住宅比率	0.290	終戦以前に建築された住宅の比率	0.158	第2次産業就業者比率	-0.074	65歳以上人口比率	0.028
生活保護受給者世帯比率	0.229	空き家率	0.124	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.158	持ち家比率	-0.177
失業率	0.216	水洗化率	-0.018	事業所数(人口1000人あたり)	-0.166	小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.181
終戦以前に建築された住宅の比率	0.200	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.075	零細事業所従業者の全従業員数に占める比率	-0.170	事業所数(人口1000人あたり)	-0.192
空き家率	0.121	共同住宅比率	-0.077	小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.208	失業率	-0.263
長屋建て住宅の比率	0.080	持ち家比率	-0.164	65歳以上人口比率	-0.251	第2次産業就業者比率	-0.324
零細事業所従業者の全従業員数に占める比率	-0.022	65歳以上人口比率	-0.192	長屋建て住宅の比率	-0.374	生活保護受給者世帯比率	-0.332
第2次産業就業者比率	-0.142	小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.227	持ち家比率	-0.376	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.363
持ち家比率	-0.257	事業所数(人口1000人あたり)	-0.307	終戦以前に建築された住宅の比率	-0.446	空き家率	-0.364

③1990年 固有ベクトル表

第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分	
空き家率	0.344	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.444	小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.364	第2次産業就業者比率	0.423
65歳以上人口比率	0.316	長屋建て住宅の比率	0.434	事業所数(人口1000人あたり)	0.355	失業率	0.390
人口密度	0.297	第2次産業就業者比率	0.408	持ち家比率	0.352	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.337
失業率	0.284	終戦以前に建築された住宅の比率	0.281	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.344	生活保護受給者世帯比率	0.333
共同住宅比率	0.281	失業率	0.195	65歳以上人口比率	0.277	事業所数(人口1000人あたり)	0.081
水洗化率	0.281	人口密度	0.192	終戦以前に建築された住宅の比率	0.273	小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.061
小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.276	生活保護受給者世帯比率	0.178	長屋建て住宅の比率	0.098	空き家率	0.031
生活保護受給者世帯比率	0.270	持ち家比率	0.076	第2次産業就業者比率	0.072	共同住宅比率	-0.001
主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.262	65歳以上人口比率	0.056	空き家率	0.058	長屋建て住宅の比率	-0.038
事業所数(人口1000人あたり)	0.239	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.044	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.020	持ち家比率	-0.146
終戦以前に建築された住宅の比率	0.218	空き家率	-0.091	生活保護受給者世帯比率	-0.147	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.213
長屋建て住宅の比率	0.119	水洗化率	-0.118	失業率	-0.160	人口密度	-0.251
零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.111	共同住宅比率	-0.251	人口密度	-0.169	水洗化率	-0.299
第2次産業就業者比率	-0.056	小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.257	水洗化率	-0.334	65歳以上人口比率	-0.309
持ち家比率	-0.320	事業所数(人口1000人あたり)	-0.317	共同住宅比率	-0.377	終戦以前に建築された住宅の比率	-0.344

④2000年 固有ベクトル表

第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分	
持ち家比率	0.342	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.417	小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.444	終戦以前に建築された住宅の比率	0.355
第2次産業就業者比率	0.048	第2次産業就業者比率	0.400	事業所数(人口1000人あたり)	0.435	65歳以上人口比率	0.333
長屋建て住宅の比率	-0.156	長屋建て住宅の比率	0.394	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.359	持ち家比率	0.229
零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.158	終戦以前に建築された住宅の比率	0.274	終戦以前に建築された住宅の比率	0.236	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.196
事業所数(人口1000人あたり)	-0.198	生活保護受給者世帯比率	0.187	持ち家比率	0.225	空き家率	0.155
水洗化率	-0.223	失業率	0.145	長屋建て住宅の比率	0.101	水洗化率	0.153
小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.228	持ち家比率	0.140	65歳以上人口比率	0.078	長屋建て住宅の比率	0.096
終戦以前に建築された住宅の比率	-0.229	65歳以上人口比率	0.121	第2次産業就業者比率	0.070	小売業店舗数(人口1000人あたり)	0.086
主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.244	人口密度	0.109	生活保護受給者世帯比率	-0.008	人口密度	0.063
共同住宅比率	-0.268	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.076	空き家率	-0.019	事業所数(人口1000人あたり)	0.057
生活保護受給者世帯比率	-0.304	空き家率	-0.097	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.028	共同住宅比率	-0.097
失業率	-0.311	水洗化率	-0.152	失業率	-0.039	生活保護受給者世帯比率	-0.198
空き家率	-0.317	小売業店舗数(人口1000人あたり)	-0.285	人口密度	-0.249	失業率	-0.395
65歳以上人口比率	-0.320	事業所数(人口1000人あたり)	-0.326	共同住宅比率	-0.296	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.428
人口密度	-0.340	共同住宅比率	-0.328	水洗化率	-0.452	第2次産業就業者比率	-0.462

⑤2008年 固有ベクトル表

第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分	
空き家率	0.366	共同住宅比率	0.385	水洗化率	0.612	第2次産業就業者比率	0.615
失業率	0.361	事業所数（人口1000人あたり）	0.374	共同住宅比率	0.308	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.381
人口密度	0.327	小売業店舗数（人口1000人あたり）	0.343	人口密度	0.275	長屋建て住宅の比率	0.208
生活保護受給者世帯比率	0.326	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.201	失業率	0.096	人口密度	0.189
1960年以前に建築された住宅の比率	0.294	人口密度	0.061	65歳以上人口比率	0.092	水洗化率	0.167
65歳以上人口比率	0.275	水洗化率	0.032	生活保護受給者世帯比率	0.077	空き家率	0.145
主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	0.265	空き家率	0.000	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.036	共同住宅比率	0.101
零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	0.236	失業率	-0.092	空き家率	-0.032	失業率	-0.036
小売業店舗数（人口1000人あたり）	0.196	生活保護受給者世帯比率	-0.142	1960年以前に建築された住宅の比率	-0.134	生活保護受給者世帯比率	-0.127
共同住宅比率	0.190	1960年以前に建築された住宅の比率	-0.207	持ち家比率	-0.154	事業所数（人口1000人あたり）	-0.143
長屋建て住宅の比率	0.187	持ち家比率	-0.264	長屋建て住宅の比率	-0.163	持ち家比率	-0.174
事業所数（人口1000人あたり）	0.165	65歳以上人口比率	-0.277	第2次産業就業者比率	-0.216	1960年以前に建築された住宅の比率	-0.209
第2次産業就業者比率	0.009	長屋建て住宅の比率	-0.323	事業所数（人口1000人あたり）	-0.304	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.211
水洗化率	-0.004	零細事業所従業者の全従業者数に占める比率	-0.330	小売業店舗数（人口1000人あたり）	-0.319	小売業店舗数（人口1000人あたり）	-0.232
持ち家比率	-0.314	第2次産業就業者比率	-0.343	主たる家計支持者の通勤時間が30分未満世帯の比率	-0.346	65歳以上人口比率	-0.358

別表2 主成分分析結果・主成分得点表

①1970年 主成分得点表

	第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分								
1	北	6.245	西	成	5.162	生	野	3.361	岸	和	田	2.342			
2	東	6.024	東	成	3.330	東	成	2.566	浪	速		1.551			
3	南	5.848	生	野	2.824	岸	和	田	2.124	八	尾	1.287			
4	西	4.548	阿	倍	2.498	福	島	1.987	此	花		1.196			
5	福	2.891	浪	速	2.298	旭		1.869	堺			1.052			
6	天	2.704	福	島	1.846	阿	倍	野	1.715	西	淀	川	0.952		
7	大	淀	1.448	旭	1.705	守	口	1.280	西	成		0.945			
8	茨	木	0.449	南	1.582	東	大	阪	0.981	東	大	阪	0.944		
9	岸	和	0.361		1.344	城	東	0.961	北			0.629			
10	高	槻	0.143	東	住	吉	1.023	八	尾	0.879	大	淀	0.532		
11	伊	丹	0.138	大	正	0.999	伊	丹	0.732	伊	丹		0.522		
12	東	灘	0.127	城	東	0.969	東	住	吉	0.717	高	槻	0.280		
13	東	成	0.117	住	吉	0.814	高	槻	0.637	東	成		0.176		
14	浪	速	0.088		港	0.726	茨	木	0.320	大	正		0.140		
15	阿	倍	0.056	西	淀	川	0.620	堺		0.178	尼	崎	0.138		
16	都	島	-0.540	大	淀	0.569	寝	屋	川	0.176		西	0.133		
17	枚	方	-0.550	都	島	0.316	大	淀	0.119		茨	木	0.108		
18		堺	-0.595	天	王	寺	0.294	枚	方	0.110	枚	方	0.104		
19	吹	田	-0.633	此	花	0.192	東	淀	川	0.077	東	淀	川	0.097	
20	西	宮	-0.669	東	淀	川	0.072	豊	中	-0.288	寝	屋	川	0.010	
21	八	尾	-0.693	尼	崎	0.065	吹	田	-0.389		東		-0.046		
22	寝	屋	川	-1.012	西		0.003	住	吉	-0.391	守	口	-0.133		
23	生	野	-1.109	守	口	-0.388	都	島	-0.408		生	野	-0.179		
24	豊	中	-1.132		東	-0.723		西		-0.413	福	島	-0.182		
25	西	淀	川	-1.191	東	大	阪	-0.745	西	淀	川		旭	-0.257	
26	大	正	-1.265		岸	和	田	-1.607		北	-0.566	城	東	-0.348	
27	東	淀	川	-1.365	豊	中	-1.619	西	西	宮	-0.583	東	住	吉	-0.396
28	城	東	-1.425		堺	-1.645	東	灘	区	-0.605		南		-0.618	
29	東	大	阪	-1.497	八	尾	-1.796		南	-0.665		都	島	-0.738	
30	旭		-1.509	東	灘	区	-1.848	天	王	寺	-0.675	天	王	寺	-0.909
31		港	-1.659	西	西	宮	-1.913	東		-0.708	東	灘	区	-0.921	
32	尼	崎	-2.141	吹	田	-2.028	尼	崎	-1.110		港		-0.977		
33	住	吉	-2.161	伊	丹	-2.411	西	成	-1.150	西	西	宮	-1.250		
34	此	花	-2.209	枚	方	-2.883	大	正	-1.876		住	吉	-1.342		
35	守	口	-2.302	寝	屋	川	-2.907	此	花	-2.703	豊	中	-1.485		
36	東	東	住	吉	-2.516	茨	木	-3.326	浪	速	-3.675	吹	田	-1.624	
37	西	成	-3.015	高	高	槻	-3.410		港	-4.057	阿	倍	野	-1.730	

②1980年 主成分得点表

	第1主成分		第2主成分		第3主成分		第4主成分		
1	南	5.589	西	成	5.862	港	2.709	阿 倍 野	2.327
2	北	5.145	生	野	4.319	浪 速	2.655	芦 屋	2.316
3	浪 速	4.629	東 住	吉	2.405	此 花	2.080	吹 田	1.964
4	西 成	4.513	平 野	野	2.367	東 淀 川	2.069	池 田	1.863
5	東	3.952	東 成	成	2.345	東 灘 区	1.938	東 住 吉	1.854
6	西	2.872	住 吉	吉	2.109	大 正	1.871	西 宮	1.835
7	福 島	2.667	守 口	口	1.920	吹 田	1.843	旭	1.816
8	東 成	2.649		旭	1.687	住 之 江	1.759	豊 中	1.744
9	生 野	2.562	松 原	原	1.502	住 吉	1.519	福 島	1.324
10	天 王 寺	2.492	住 之 江	江	1.425	箕 面	1.408	東 成	1.315
11	阿 倍 野	2.457	鶴 見	見	1.398	豊 中	1.388	住 吉	1.242
12	住 之 江	1.916	城 東	東	1.331	茨 木	1.374	城 東	1.110
13	住 吉	1.870	阿 倍 野	野	1.249	西 成	1.319	生 野	1.077
14	港	1.794	東 大 阪	阪	1.066	平 野	1.253	箕 面	0.974
15	旭	1.789	東 淀 川	川	1.002	堺	1.071	宝 塚	0.844
16	都 島	1.695	和 泉	泉	0.972	都 島	1.055	高 槻	0.805
17	城 東	1.688	四 条 畷	畷	0.888	淀 川	1.012	富 田 林	0.733
18	大 淀	1.651	寝 屋 川	川	0.862	枚 方	0.949	東 灘 区	0.677
19	淀 川	1.495	尼 崎	崎	0.859	西 宮	0.948	淀 川	0.577
20	東 住 吉	1.472	泉 佐 野	野	0.855	寝 屋 川	0.829	東 淀 川	0.560
21	大 正	1.460	大 正	門	0.807	門 真	0.706	枚 方	0.407
22	此 花	1.325	大 東	東	0.668	西 淀 川	0.697	茨 木	0.378
23	西 淀 川	1.307	門 真	真	0.649	西 淀 川	0.623	天 王 寺	0.350
24	東 淀 川	0.884	此 花	花	0.647	尼 崎	0.539	平 野	0.342
25	平 野	0.855	貝 塚	塚	0.641	高 槻	0.468	藤 井 寺	0.310
26	尼 崎	0.363	西 淀 川	川	0.622	天 王 寺	0.452	寝 屋 川	0.288
27	鶴 見	0.132	泉 大 津	津	0.519	大 淀	0.444	伊 丹	0.268
28	守 口	-0.015	岸 和 田	田	0.481	芦 屋	0.434	大 淀	0.248
29	東 灘 区	-0.238	都 島	島	0.345	鶴 見	0.417	川 西	0.040
30	豊 中	-0.558		堺	0.301	高 石	0.361	交 野	-0.031
31	芦 屋	-0.772		港	0.267	池 田	0.319	尼 崎	-0.065
32	池 田	-0.845	八 尾	尾	0.253	宝 塚	0.259	都 島	-0.083
33	門 真	-0.847	浪 速	速	0.210	河 内 長 野	0.234	羽 曳 野	-0.183
34	吹 田	-0.875	藤 井 寺	寺	0.076	伊 丹	0.117	港	-0.216
35	東 大 阪	-0.935	高 石	石	0.018	大 東	0.027	守 口	-0.221
36	堺	-0.979	淀 川	川	-0.084	城 東	-0.115	高 石	-0.354
37	西 宮	-1.074	河 内 長 野	野	-0.245	富 田 林	-0.117	大 正	-0.371
38	泉 佐 野	-1.189	福 島	島	-0.317	四 条 畷	-0.302	堺	-0.403
39	伊 丹	-1.190	豊 中	中	-0.417	摂 津	-0.434	河 内 長 野	-0.444
40	泉 大 津	-1.275	羽 曳 野	野	-0.465	和 泉	-0.446	南	-0.474
41	高 石	-1.301	柏 原	原	-0.537	藤 井 寺	-0.484	鶴 見	-0.490
42	貝 塚	-1.303	川 西	西	-0.560	交 野	-0.487	松 原	-0.497
43	寝 屋 川	-1.372	伊 丹	丹	-0.567	守 口	-0.557	摂 津	-0.755
44	岸 和 田	-1.651	摂 津	津	-0.715	松 原	-0.682	住 之 江	-0.795
45	茨 木	-1.654	高 槻	槻	-0.733	羽 曳 野	-0.748	八 尾	-0.834
46	三 田	-1.721	交 野	野	-0.746	旭	-0.874	此 花	-0.852
47	箕 面	-1.805	枚 方	方	-0.858	八 尾	-0.945	泉 大 津	-0.856
48	大 東	-1.808	富 田 林	林	-0.924	泉 佐 野	-1.043	西 宮	-0.897
49	和 泉	-1.904	大 淀	淀	-1.061	泉 大 津	-1.170	西 淀 川	-0.906
50	八 尾	-1.972	吹 田	田	-1.276	東 大 阪	-1.177	門 真	-0.942
51	松 原	-2.026	茨 木	木	-1.303	東	-1.183	四 条 畷	-0.985
52	藤 井 寺	-2.052	西 宮	宮	-1.314	川 西	-1.336	東 大 阪	-1.096
53	富 田 林	-2.319	芦 屋	屋	-1.325	貝 塚	-1.345	柏 原	-1.108
54	宝 塚	-2.344	東 灘 区	区	-1.351	岸 和 田	-1.598	北	-1.133
55	摂 津	-2.402	池 田	田	-1.605	柏 原	-1.679	東	-1.179
56	枚 方	-2.422	宝 塚	塚	-1.778	北	-1.688	大 東	-1.359
57	河 内 長 野	-2.453	天 王 寺	寺	-1.957	東 住 吉	-1.817	岸 和 田	-1.368
58	高 槻	-2.578	箕 面	面	-2.067	南	-1.959	三 田	-1.420
59	四 条 畷	-2.631	三 田	田	-2.169	阿 倍 野	-2.123	和 泉	-1.472
60	羽 曳 野	-3.017	西	西	-3.082	三 田	-2.403	貝 塚	-1.673
61	柏 原	-3.035	南	南	-4.392	福 島	-2.749	泉 佐 野	-1.883
62	川 西	-3.267	北	北	-5.086	生 野	-3.697	西 成	-2.056
63	交 野	-3.392	東	東	-5.991	東 成	-3.991	浪 速	-2.190

③1990年 主成分得点表

	第1主成分			第2主成分			第3主成分			第4主成分						
1	西	成	6.107	生	野	4.658	中	央	4.784	浪	速	2.485				
2	中	央	6.056	西	成	4.527	三	田	2.722	門	真	1.968				
3	浪	速	5.120	東	住	吉	2.970	泉	佐	野	2.566	西	成	1.966		
4	東	住	吉	3.960	東	成	2.619	貝	塚	2.082	此	花	1.815			
5	東	成	3.793	松	原	2.090	東	成	2.054	大	東	1.628				
6	生	野	3.695	守	口	1.911		北	1.986		港	1.354				
7		北	3.494		旭	1.823	岸	和	田	1.879	平	野	1.311			
8	阿	倍	野	3.119	阿	倍	野	1.506	生	野	1.869	泉	南	1.279		
9	住	吉	2.937	四	条	暖	1.472	福	島	1.573	泉	佐	野	1.194		
10	福	島	2.477	泉	大	津	1.360	泉	大	津	1.268	拱	津	1.188		
11		西	2.449	泉	佐	野	1.222	泉	南	1.060	四	条	暖	1.152		
12		旭	2.375	貝	塚	1.186	羽	曳	野	0.988	貝	塚	1.011			
13		港	2.297	和	泉	1.124	柏	原	0.898	鶴	見	1.010				
14	天	王	寺	2.203	東	大	阪	1.117	川	西	0.815	泉	大	津	0.917	
15	城	東	1.942	岸	和	田	1.091	松	原	0.769	八	尾	0.910			
16	平	野	1.690	城	東	1.048	河	内	長	野	0.758	松	原	0.849		
17	淀	川	1.569	平	野	1.036	和	泉	0.733	岸	和	田	0.847			
18	此	花	1.477	住	吉	0.997	四	条	暖	0.726	西	淀	川	0.841		
19	大	正	1.457	泉	南	0.796	阿	倍	野	0.724	大	正	0.815			
20	西	淀	川	1.294	八	尾	0.777	交	野	0.695	東	大	阪	0.787		
21	都	島	1.223	藤	井	寺	0.772	高	石	0.598	和	泉	0.736			
22	住	之	江	1.208	大	東	0.744		西	0.593	柏	原	0.642			
23	東	淀	川	1.006	柏	原	0.676	藤	井	寺	0.517	中	央	0.625		
24	守	口	0.605	門	真	0.537	東	大	阪	0.467	寝	屋	川	0.553		
25	尼	崎	0.506	羽	曳	野	0.465	八	尾	0.434	住	之	江	0.452		
26	鶴	見	0.401	川	西	0.448	大	東	0.109	北		0.450				
27	門	真	-0.148	尼	崎	0.437	拱	津	0.089	東	淀	川	0.388			
28	東	灘	区	-0.349	寝	屋	川	0.370	天	王	寺	0.079	伊	丹	0.387	
29	東	大	阪	-0.390	大	正	0.334	守	口	0.079	尼	崎	0.336			
30	芦	屋	-0.475	高	石	0.275		旭	0.072		西	0.180				
31	豊	中	-0.599	鶴	見	0.212	西	淀	川	-0.087	枚	方	0.180			
32	西	宮	-0.677	福	島	0.106	伊	丹	-0.119	淀	川	0.136				
33	泉	大	津	-0.742	交	野	0.081	富	田	林	-0.195	富	田	林	0.132	
34	貝	塚	-1.052	拱	津	0.012	東	住	吉	-0.225	羽	曳	野	0.093		
35	池	田	-1.116	西	淀	川	-0.162	高	槻	-0.381	堺		0.067			
36	八	尾	-1.190		堺	-0.176	宝	塚	-0.402	高	槻	0.010				
37		堺	-1.267	住	之	江	-0.327	尼	崎	-0.418	藤	井	寺	-0.126		
38	伊	丹	-1.325	河	内	長	野	-0.388	城	東	-0.537	茨	木	-0.148		
39	泉	佐	野	-1.337		港	-0.423		堺	-0.584	高	石	-0.185			
40	岸	和	田	-1.340	都	島	-0.448	寝	屋	川	-0.602	守	口	-0.202		
41	寝	屋	川	-1.363	此	花	-0.464	池	田	-0.627	三	田	-0.273			
42	高	石	-1.425	高	槻	-0.500	大	阪	狭	山	-0.703	交	野	-0.540		
43	藤	井	寺	-1.441	伊	丹	-0.517	茨	木	-0.771	都	島	-0.563			
44	吹	田	-1.470	富	田	林	-0.557	門	真	-0.833	天	王	寺	-0.586		
45	泉	南	-1.556	東	淀	川	-0.574	枚	方	-0.846	吹	田	-0.661			
46	松	原	-1.576	三	田	-0.600	大	正	-0.902	城	東	-0.725				
47	和	泉	-1.731	枚	方	-0.628	芦	屋	-1.026	豊	中	-0.821				
48	富	田	林	-1.892	豊	中	-0.891	西	成	-1.054	大	阪	狭	山	-0.901	
49	大	東	-1.957	大	阪	狭	山	-1.039	淀	川	-1.084	住	吉	-1.018		
50	拱	津	-2.016	淀	川	-1.059	東	灘	区	-1.099	東	灘	区	-1.146		
51	茨	木	-2.067	宝	塚	-1.067	都	島	-1.102	西	宮	-1.182				
52	柏	原	-2.237	池	田	-1.212	西	宮	-1.129	河	内	長	野	-1.191		
53	四	条	暖	-2.420	茨	木	-1.325	箕	面	-1.221	川	西	-1.254			
54	箕	面	-2.552	西	宮	-1.416	此	花	-1.283	池	田	-1.284				
55	三	田	-2.570	芦	屋	-1.468	鶴	見	-1.316	生	野	-1.406				
56	宝	塚	-2.577	吹	田	-1.870		港	-1.460	宝	塚	-1.411				
57	枚	方	-2.632	東	灘	区	-1.925	浪	速	-1.592	福	島	-1.489			
58	羽	曳	野	-2.691	箕	面	-1.967	住	之	江	-1.834	箕	面	-1.526		
59	高	槻	野	-2.725	浪	速	-2.042	豊	中	-1.852	東	成	-1.558			
60	大	阪	狭	山	-2.883	天	王	寺	-2.617	平	野	-1.962	旭	-1.868		
61	川	西	-3.156		西		-3.797	住	吉	-1.993	芦	屋	-2.735			
62	河	内	長	野	-3.404		北	-4.420	吹	田	-2.101	阿	倍	野	-2.796	
63	交	野	-4.012		中	央	-6.919		東	淀	川	-2.645	東	住	吉	-3.096

④2000年 主成分得点表

	第1主成分			第2主成分			第3主成分			第4主成分					
1	三	田	3.523	生	野	4.415	中	央	5.666	阿	倍	野	3.735		
2	河	内	長	野	3.412	西	成	4.301	泉	佐	野	2.648	芦	屋	2.498
3	交	野	3.289	東	成	2.782	貝	塚	2.259	東	住	吉	2.080		
4	阪	南	3.027	東	住	吉	2.448	岸	和	田	2.029	旭	1.841		
5	羽	曳	野	2.757	松	原	2.124	北	1.898	生	野	1.528			
6	川	西	2.756	旭	1.816	泉	南	1.888	川	倍	野	1.456			
7	和	泉	2.600	四	条	暖	1.790	阪	南	1.580	河	内	長	野	1.443
8	枚	方	2.572	阿	倍	野	1.758	羽	曳	野	1.325	東	成	1.298	
9	泉	南	2.476	守	口	1.547	柏	原	1.280	住	吉	1.274			
10	高	槻	2.475	八	尾	1.464	生	野	1.252	宝	塚	1.212			
11	大	阪	狭	山	2.451	柏	原	1.439	和	泉	1.045	中	央	1.092	
12	富	田	林	2.192	羽	曳	野	1.325	松	原	0.967	西	宮	1.066	
13	箕	面	2.162	東	大	阪	1.279	泉	大	津	0.929	三	田	0.986	
14	宝	塚	2.142	岸	和	田	1.258	八	尾	0.897	池	田	0.939		
15	四	条	暖	2.058	阪	南	1.218	福	島	0.810	福	島	0.910		
16	柏	原	2.024	藤	井	寺	1.151	東	成	0.665	豊	中	0.679		
17	茨	木	1.900	泉	大	津	1.067	東	大	阪	0.608	東	灘	区	0.647
18	大	東	1.493	貝	塚	1.009	河	内	長	野	0.561	箕	面	0.604	
19	貝	塚	1.456	城	東	0.840	四	条	暖	0.549	大	阪	狭	山	0.515
20	泉	佐	野	1.431	泉	南	0.814	大	東	0.445	阪	南	0.380		
21	藤	井	寺	1.384	平	野	0.811	藤	井	寺	0.424	大	都	島	0.263
22	高	石	1.376	和	泉	0.810	高	石	0.383	高	石	0.226			
23	摂	津	1.345	大	東	0.785	富	田	林	0.380	天	王	寺	0.218	
24	寝	屋	川	1.286	泉	佐	野	0.607	西	田	0.319	吹	田	0.179	
25	松	原	1.228	住	吉	0.533	三	倍	田	0.293	城	東	0.109		
26	岸	和	田	1.223	門	真	0.528	阿	倍	野	0.204	堺	0.060		
27	池	田	1.217	高	石	0.485	西	淀	川	0.136	羽	曳	野	0.056	
28	堺	1.187	鶴	見	0.425	摂	津	0.121	藤	井	寺	0.015			
29	吹	田	1.183	寝	屋	川	0.416	東	住	吉	-0.024	尼	崎	0.005	
30	伊	丹	1.069	大	正	0.412	交	野	-0.041	交	野	-0.030			
31	東	灘	区	0.973	交	野	0.398	守	口	-0.154	高	槻	-0.080		
32	八	尾	0.969	河	内	長	野	0.310	天	王	寺	-0.168	守	口	-0.087
33	西	宮	0.957	川	西	0.280	門	真	-0.235	富	田	林	-0.099		
34	芦	屋	0.901	尼	崎	0.233	大	正	-0.266	泉	南	-0.118			
35	泉	大	津	0.609	西	淀	川	0.012	伊	丹	-0.307	枚	方	-0.139	
36	豊	中	0.260	富	田	林	-0.035	西	成	-0.342	茨	木	-0.191		
37	東	大	阪	-0.008	堺	-0.220	高	槻	-0.347	岸	和	田	-0.210		
38	門	真	-0.315	高	槻	-0.337	川	西	-0.363	住	之	江	-0.337		
39	鶴	見	-0.759	伊	丹	-0.403	浪	速	-0.367	淀	川	-0.365			
40	守	口	-0.777	此	花	-0.409	堺	-0.486	貝	塚	-0.380				
41	此	花	-0.903	枚	方	-0.411	尼	崎	-0.512	泉	大	津	-0.400		
42	住	之	江	-0.946	摂	津	-0.424	此	花	-0.581	寝	屋	川	-0.410	
43	尼	崎	-0.968	大	阪	狭	山	-0.534	旭	-0.592	泉	南	-0.436		
44	西	淀	川	-1.163	豊	中	-0.684	大	阪	狭	山	-0.691	和	泉	-0.485
45	都	島	-1.394	都	島	-0.718	寝	屋	川	-0.710	柏	原	-0.507		
46	淀	川	-1.539	住	之	江	-0.718	枚	方	-0.726	松	原	-0.520		
47	東	淀	川	-1.553	福	島	-0.762	池	田	-0.860	四	条	暖	-0.544	
48	西	-1.818	港	-0.986	鶴	見	-0.880	見	-0.880	泉	佐	野	-0.604		
49	平	野	-1.887	宝	塚	-0.994	宝	塚	-0.889	東	大	阪	-0.668		
50	大	正	-1.984	東	淀	川	-1.001	住	之	江	-1.046	西	-0.823		
51	港	-2.041	三	田	-1.023	港	-1.069	八	尾	-0.918					
52	天	王	寺	-2.189	淀	川	-1.242	茨	木	-1.086	東	淀	川	-0.943	
53	城	東	-2.267	池	田	-1.301	淀	川	-1.100	大	正	-1.094			
54	北	-2.299	芦	屋	-1.412	箕	面	-1.165	伊	丹	-1.154				
55	旭	-2.509	茨	木	-1.473	城	東	-1.282	西	淀	川	-1.206			
56	福	島	-2.665	西	宮	-1.581	都	島	-1.308	摂	津	-1.213			
57	住	吉	-2.962	吹	田	-1.931	平	野	-1.380	鶴	見	-1.237			
58	東	住	吉	-2.988	箕	面	-1.982	西	宮	-1.471	港	-1.483			
59	阿	倍	野	-3.321	東	灘	区	-2.086	豊	中	-1.528	此	花	-1.519	
60	生	野	-4.182	天	王	寺	-2.313	芦	屋	-1.536	平	野	-1.754		
61	東	成	-4.401	浪	速	-2.990	東	灘	区	-1.762	浪	速	-1.795		
62	浪	速	-4.554	西	北	-3.489	吹	田	-1.808	西	成	-1.801			
63	中	央	-5.281	北	央	-4.423	住	吉	-1.935	大	東	-1.867			
64	西	成	-7.692	中	央	-7.009	東	淀	川	-2.546	門	真	-1.894		

⑤2008年 主成分得点表

	第1主成分			第2主成分			第3主成分			第4主成分								
1	西	成	9.017	中	央	8.190	芦	屋	2.109	門	真	2.251						
2	生	野	6.296		北	5.916	東	淀	川	2.055	摂	津	1.928					
3	東	成	3.641		西	4.750	東	灘	区	1.869	大	東	1.884					
4	住	吉	3.299	浪	速	3.868	吹	田	1.863	鶴	見	1.657						
5	東	住	吉	3.272	天	王	寺	2.782	住	吉	1.825	平	野	1.576				
6	浪	速	3.230	福	島	1.861	鶴	見	1.405	伊	丹	1.470						
7		旭	3.129	吹	田	1.757	豊	中	1.363		西		1.463					
8	中	央	3.054	淀	川	1.679	平	野	1.346	守	口	1.352						
9	阿	倍	野	2.598	東	灘	区	1.351	都	島	1.326	西	淀	川	1.326			
10	平	野	2.352	都	島	1.350	西	宮	1.262	東	大	阪	1.266					
11	城	東	2.171	茨	木	1.024	住	之	江	1.255	城	東	1.089					
12		港	2.047	西	宮	0.984	箕	面	1.246	東	淀	川	0.830					
13	大	正	1.711	東	淀	川	0.866	西	成	1.190	四	条	畷	0.826				
14		北	1.702	箕	面	0.807	宝	塚	1.142	寝	屋	川	0.813					
15	天	王	寺	1.693	住	之	江	0.771	城	東	1.130	淀	川	0.786				
16	東	淀	川	1.598		港	0.463	池	田	1.087	柏	原	0.764					
17	淀	川	1.380	豊	中	0.369	茨	木	1.058	尼	崎	0.672						
18	福	島	1.270	鶴	見	0.354		港	1.025	此	花	0.658						
19	門	真	1.160	芦	屋	0.331	阿	倍	野	0.879	八	尾	0.553					
20	守	口	1.125	此	花	0.320	淀	川	0.802	泉	大	津	0.366					
21	都	島	1.102	伊	丹	0.298	大	阪	狭	山	0.791	都	島	0.288				
22		西	1.101	池	田	0.291	福	島	0.681	三	田	0.274						
23	此	花	0.776	三	田	0.286	高	槻	0.672	福	島	0.254						
24	住	之	江	0.622	摂	津	0.233	此	花	0.608	枚	方	0.243					
25	東	大	阪	0.588	大	阪	狭	山	0.049	大	正	0.563	港	0.170				
26	尼	崎	0.578	宝	塚	-0.039	川	西	0.429	大	正	0.164						
27	西	淀	川	0.424	富	田	林	-0.097	旭	0.400	住	之	江	0.153				
28	鶴	見	0.212	枚	方	-0.115	東	住	吉	0.389	茨	木	0.115					
29	豊	中	-0.170		堺	-0.118	枚	方	0.383	吹	田	0.063						
30	松	原	-0.334	大	東	-0.139	寝	屋	川	0.287	松	原	0.051					
31	八	尾	-0.351	西	淀	川	-0.176	交	野	0.251	東	成	-0.053					
32	寝	屋	川	-0.457	城	東	-0.244		堺	0.236	豊	中	-0.103					
33	泉	佐	野	-0.481	尼	崎	-0.257	天	王	寺	0.168	高	石	-0.111				
34	泉	大	津	-0.605	高	槻	-0.282	伊	丹	0.009	富	田	林	-0.142				
35	藤	井	寺	-0.681	大	正	-0.366	三	田	0.001	交	野	-0.145					
36	高	石	-0.693	泉	佐	野	-0.373	西		-0.234		堺	-0.195					
37	岸	和	田	-0.737	阿	倍	野	-0.406	富	田	林	-0.273	生	野	-0.242			
38	貝	塚	-0.777	泉	大	津	-0.490	河	内	長	野	-0.278	泉	佐	野	-0.314		
39	柏	原	-1.066	和	泉	-0.578	尼	崎	-0.283	羽	曳	野	-0.320					
40		堺	-1.122	平	野	-0.592	高	石	-0.329	岸	和	田	-0.336					
41	摂	津	-1.168	住	吉	-0.635	守	口	-0.332	和	泉	-0.365						
42	大	東	-1.205	東	成	-0.811	東	成	-0.421	貝	塚	-0.425						
43	四	条	畷	-1.232	寝	屋	川	-0.853	大	東	-0.424	藤	井	寺	-0.453			
44	吹	田	-1.440	岸	和	田	-0.869	四	条	畷	-0.441	高	槻	-0.473				
45	伊	丹	-1.541	門	真	-0.931	泉	大	津	-0.454		北	-0.602					
46	池	田	-1.553	東	大	阪	-0.939	摂	津	-0.597	住	吉	-0.604					
47	羽	曳	野	-1.690	高	石	-0.986	浪	速	-0.630	東	灘	区	-0.618				
48	富	田	林	-1.703	貝	塚	-0.990	門	真	-0.655	池	田	-0.645					
49	泉	南	-1.893	柏	原	-1.112	和	泉	-0.818	大	阪	狭	山	-0.650				
50	東	灘	区	-2.161	泉	南	-1.113	東	大	阪	-0.841	天	王	寺	-0.662			
51	和	泉	-2.181	交	野	-1.120	羽	曳	野	-0.936	浪	速	-0.703					
52	枚	方	-2.284	河	内	長	野	-1.207	西	淀	川	-0.981	箕	面	-0.754			
53	大	阪	狭	山	-2.290	八	尾	-1.374	藤	井	寺	-1.075	西	宮	-0.786			
54	箕	面	-2.308		旭	-1.380	八	尾	-1.154	泉	南	-0.813						
55	阪	南	-2.318	守	口	-1.410	松	原	-1.324	東	住	吉	-0.911					
56	芦	屋	-2.415	阪	南	-1.547	阪	南	-1.446		旭	-1.141						
57	西	宮	-2.453	羽	曳	野	-1.648	柏	原	-1.652	宝	塚	-1.182					
58	茨	木	-2.620	藤	井	寺	-1.679	生	野	-1.663	阪	南	-1.301					
59	川	西	-2.665	川	西	-1.719	岸	和	田	-1.815	川	西	-1.369					
60	高	槻	-2.673	四	条	畷	-1.835		北	-1.944	中	央	-1.543					
61	宝	塚	-2.937	東	住	吉	-1.972	泉	南	-2.549	阿	倍	野	-1.689				
62	河	内	長	野	-3.133	松	原	-2.581	貝	塚	-3.023	芦	屋	-1.829				
63	交	野	-3.327	西	成	-3.778	泉	佐	野	-3.259	西	成	-1.894					
64	三	田	-4.485	生	野	-4.187	中	央	-3.275	河	内	長	野	-1.932				

別表3 「インナーシティ度」要素についての通期的な区・市の主成分得点順位の推移

		通期的順位					前期からのランクアップ度			
		1970	1980	1990	2000	2008	1980	1990	2000	2008
1	旭	5	8	7	6	7	-3	1	1	-1
2	芦屋	-	53	55	54	56	-	-2	1	-2
3	阿倍野	6	13	8	8	9	-7	5	0	-1
4	尼崎	32	19	27	34	26	13	-8	-7	8
5	生野	1	2	1	1	2	-1	1	0	-1
6	池田	-	55	52	53	46	-	3	-1	7
7	和泉	-	16	13	22	51	-	3	-9	-29
8	泉大津	-	27	10	17	34	-	17	-7	-17
9	泉佐野	-	20	11	24	33	-	9	-13	-9
10	伊丹	11	43	43	39	45	-32	0	4	-6
11	茨木	14	51	53	55	58	-37	-2	-2	-3
12	大阪狭山	-	-	49	43	53	-	-	6	-10
13	貝塚	-	25	12	18	38	-	13	-6	-20
14	柏原	-	41	23	11	39	-	18	12	-28
15	交野	-	46	33	31	63	-	13	2	-32
16	門真	-	23	24	26	19	-	-1	-2	7
17	河内長野	-	37	38	32	62	-	-1	6	-30
18	川西	-	42	26	33	59	-	16	-7	-26
19	岸和田	3	28	15	14	37	-25	13	1	-23
20	北	26	62	62	63	14	-36	0	-1	49
21	此花	35	24	41	40	23	11	-17	1	17
22	堺	15	30	36	37	40	-15	-6	-1	-3
23	三田	-	59	46	51	64	-	13	-5	-13
24	四條畷	-	17	9	7	43	-	8	2	-36
25	城東	9	12	16	19	11	-3	-4	-3	8
26	吹田	21	50	56	57	44	-29	-6	-1	13
27	住之江	-	10	37	46	24	-	-27	-9	22
28	住吉	22	6	18	25	4	16	-12	-7	21
29	摂津	-	44	34	42	41	-	10	-8	1
30	泉南	-	-	19	20	49	-	-	-1	-29
31	大正	34	21	29	30	13	13	-8	-1	17
32	大東	-	22	22	23	42	-	0	-1	-19
33	高石	-	35	30	27	36	-	5	3	-9
34	高槻	13	45	42	38	60	-32	3	4	-22
35	宝塚	-	56	51	49	61	-	5	2	-12
36	中央	-	-	63	64	8	-	-	-1	56
37	鶴見	-	11	31	28	28	-	-20	3	0
38	天王寺	30	57	60	60	15	-27	-3	0	45
39	豊中	20	39	48	44	29	-19	-9	4	15
40	富田	-	48	44	36	48	-	4	8	-12
41	浪速	36	33	59	61	6	3	-26	-2	55
42	西	24	60	61	62	22	-36	-1	-1	40
43	西成	33	1	2	2	1	32	-1	0	1
44	西宮	27	52	54	56	57	-25	-2	-2	-1
45	西淀川	25	26	35	35	27	-1	-9	0	8
46	寝屋川	16	18	28	29	32	-2	-10	-1	-3
47	羽曳野	-	40	25	12	47	-	15	13	-35
48	阪南	-	-	-	15	55	-	-	-	-40
49	東大阪	8	14	14	13	25	-6	0	1	-12
50	東住吉	12	3	3	4	5	9	0	-1	-1
51	東灘区	28	54	57	59	50	-26	-3	-2	9
52	東成	2	5	4	3	3	-3	1	1	0
53	東淀川	19	15	45	50	16	4	-30	-5	34
54	枚方	18	47	47	41	52	-29	0	6	-11
55	平野	-	4	17	21	10	-	-13	-4	11
56	福島	4	38	32	47	18	-34	6	-15	29
57	藤井寺	-	34	21	16	35	-	13	5	-19
58	松原	-	9	5	5	30	-	4	0	-25
59	港	37	31	39	48	12	6	-8	-9	36
60	箕面	-	58	58	58	54	-	0	0	4
61	都島	23	29	40	45	21	-6	-11	-5	24
62	守口	7	7	6	9	20	0	1	-3	-11
63	八尾	10	32	20	10	31	-22	12	10	-21
64	淀川	-	36	50	52	17	-	-14	-2	35

※1970年、1980年データしかない「大淀区」、「東区」、「南区」を除く。

補論 データ作成上の留意点について

1. 年次データがない統計書の変数の扱い

① 『事業所・企業統計調査』の変数について

『事業所・企業統計調査』については、昭和56年調査の以前は3年ごと、以降は5年毎（平成5年調査以前は『事業所統計調査』）であり、その為、2008年データとして2006年統計データを、2000年データとして2001年統計データを、1990年データとして1991年統計データを、1980年データとして、1981年統計データを、1970年データとして1969年統計データを利用する。

② 『住宅・土地統計調査』の変数について

『住宅・土地統計調査』については、5年毎に実施（H5年以前は『住宅統計調査』）されている為、2008年データとして2008年統計データを、2000年データとして1998年統計データを、1990年データとして1988年統計データを、1980年データとして1978年統計データを、1970年データとして1968年統計データを利用する。

（※1990年データについては、88年統計データでは、89年の北区と大淀区の合区（新・北区）、東区と南区の合区（中央区の誕生）が反映されない為、データ上で各区の数値を合算して使用した）

2. データ制約上の特別な取扱い

① 「長屋建て比率」の1980年データについては、通常1980年データは1978年統計データを利用しているが、1978年統計書にデータ記載がない為、1983年統計データを1980年データとして使用した。

② 「空き家率」の1970年データについては、通常1968年統計データを

使用するところであるが、1968年統計書にデータ記載がない為、1973年統計データの「住宅総数」、「空き家数」を使用した。

③ 「終戦以前に建築された住宅の比率」について、2008年データ（2008年統計データ）では、「1960年以前に建築された住宅数」以前のデータが無い為、2008年データのみ「1960年以前に建築された住宅の比率」を使用した。

④ 『住宅・土地統計調査』において、一定の人口規模以下の区・市（1968年統計データでは10万人）についてデータの記載がないため、年次によって分析対象から外れる市が存在する。例外的に1980年データ（1978年統計データ）における三田市が対象外であったが、三田市のみ1983年統計データを1980年データとして代用した。

主成分分析を行った各年次の対象区・市について次ページの表にまとめる（網掛け部分が分析対象から外れた市である）。

表 主成分分析の対象とした各年次の区・市

2008年(H20)				2000年(H12)				1990年(H2)				1980年(S55)				1970年(S45)			
1	都 島	16	住 吉	1	都 島	16	住 吉	1	都 島	16	住 吉	1	都 島	16	住 吉	1	都 島	16	住 吉
2	福 島	17	東住吉	2	福 島	17	東住吉	2	福 島	17	東住吉	2	福 島	17	東住吉	2	福 島	17	東住吉
3	此 花	18	西 成	3	此 花	18	西 成	3	此 花	18	西 成	3	此 花	18	西 成	3	此 花	18	西 成
4	西	19	淀 川	4	西	19	淀 川	4	西	19	淀 川	4	西	19	淀 川	4	西		—
5	港	20	鶴 見	5	港	20	鶴 見	5	港	20	鶴 見	5	港	20	鶴 見	5	港		—
6	大 正	21	住之江	6	大 正	21	住之江	6	大 正	21	住之江	6	大 正	21	住之江	6	大 正		—
7	天王寺	22	平 野	7	天王寺	22	平 野	7	天王寺	22	平 野	7	天王寺	22	平 野	7	天王寺		—
8	浪 速	23	北	8	浪 速	23	北	8	浪 速	23	北	8	浪 速	23	北	8	浪 速	19	北
9	西淀川	24	中 央	9	西淀川	24	中 央	9	西淀川	24	中 央	9	西淀川		—	9	西淀川		—
10	東淀川			10	東淀川			10	東淀川			10	東淀川	24	東	10	東淀川	20	東
11	東 成			11	東 成			11	東 成			11	東 成	25	南	11	東 成	21	南
12	生 野			12	生 野			12	生 野			12	生 野	26	大 淀	12	生 野	22	大 淀
13	旭			13	旭			13	旭			13	旭			13	旭		
14	城 東			14	城 東			14	城 東			14	城 東			14	城 東		
15	阿倍野			15	阿倍野			15	阿倍野			15	阿倍野			15	阿倍野		
1	堺	17	松 原	1	堺	17	松 原	1	堺	17	松 原	1	堺	17	松 原	1	堺		松 原
2	岸和田	18	大 東	2	岸和田	18	大 東	2	岸和田	18	大 東	2	岸和田	18	大 東	2	岸和田		大 東
3	豊 中	19	和 泉	3	豊 中	19	和 泉	3	豊 中	19	和 泉	3	豊 中	19	和 泉	3	豊 中		和 泉
4	池 田	20	箕 面	4	池 田	20	箕 面	4	池 田	20	箕 面	4	池 田	20	箕 面	4	池 田		箕 面
5	吹 田	21	柏 原	5	吹 田	21	柏 原	5	吹 田	21	柏 原	5	吹 田	21	柏 原	4	吹 田		柏 原
6	泉大津	22	羽曳野	6	泉大津	22	羽曳野	6	泉大津	22	羽曳野	6	泉大津	22	羽曳野		泉大津		羽曳野
7	高 槻	23	門 真	7	高 槻	23	門 真	7	高 槻	23	門 真	7	高 槻	23	門 真	5	高 槻		門 真
8	貝 塚	24	摂 津	8	貝 塚	24	摂 津	8	貝 塚	24	摂 津	8	貝 塚	24	摂 津		貝 塚		摂 津
9	守 口	25	高 石	9	守 口	25	高 石	9	守 口	25	高 石	9	守 口	25	高 石	6	守 口		高 石
10	枚 方	26	藤井寺	10	枚 方	26	藤井寺	10	枚 方	26	藤井寺	10	枚 方	26	藤井寺	7	枚 方		藤井寺
11	茨 木	27	東大阪	11	茨 木	27	東大阪	11	茨 木	27	東大阪	11	茨 木	27	東大阪	8	茨 木	11	東大阪
12	八 尾	28	泉 南	12	八 尾	28	泉 南	12	八 尾	28	泉 南	12	八 尾		泉 南	9	八 尾		泉 南
13	泉佐野	29	四条畷	13	泉佐野	29	四条畷	13	泉佐野	29	四条畷	13	泉佐野	28	四条畷		泉佐野		四条畷
14	富田林	30	交 野	14	富田林	30	交 野	14	富田林	30	交 野	14	富田林	29	交 野		富田林		—
15	寝屋川	31	大阪狭山	15	寝屋川	31	大阪狭山	15	寝屋川	31	大阪狭山	15	寝屋川		—	10	寝屋川		—
16	河内長野	32	阪 南	16	河内長野	32	阪 南	16	河内長野		—	16	河内長野		—		河内長野		—
1	東灘区	5	伊 丹	1	東灘区	5	伊 丹	1	東灘区	5	伊 丹	1	東灘区	5	伊 丹	1	東灘区	4	伊 丹
2	尼 崎	6	宝 塚	2	尼 崎	6	宝塚	2	尼 崎	6	宝塚	2	尼 崎	6	宝 塚	2	尼 崎		宝 塚
3	西 宮	7	川 西	3	西宮	7	川西	3	西宮	7	川西	3	西 宮	7	川 西	3	西 宮		川 西
4	芦 屋	8	三 田	4	芦屋	8	三田	4	芦屋	8	三田	4	芦 屋	8	三 田		芦 屋		三 田
計				計				計				計				計			
64区・市				64区・市				63区・市				63区・市				37区・市			